

悠紀の里

岡崎市南西端に位置する六ツ美地域は、平野部の田園風景が広がる地域である。また大正期実施の大嘗祭において悠紀齋田にも選ばれ、歴史的・文化的資源にも恵まれた地域でもある。この悠紀齋田跡地に、六ツ美の歴史文化伝承と、市民の活動を育む地域交流センター六ツ美分館「悠紀の里」が誕生した。

この「悠紀の里」は設計段階から市民の声を取り入れ、まずは2013（平成25）年に歴史文化伝承ゾーン「六ツ美歴史民俗資料室」がオープンした。大正期に実施された大嘗祭悠紀齋田の跡地に、総事業費約9億円をかけて建設された。民俗資料室には、当時使用した鍬や桶、鎌などの農耕具をはじめとする貴重品約150点が展示されている。

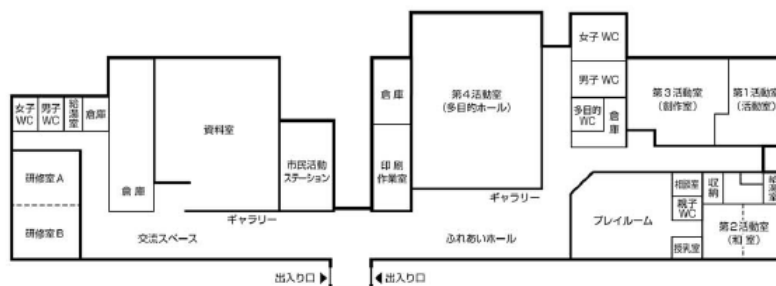
さらに、2010（平成22）年の基本構想策定から5年の時を経て2015（平成27）年2月15日に地域交流ゾーンがオープンした。ホール、乳幼児室（プレイルーム）、活動室などが新たに設置された。「特定非営利活動法人岡崎まち育てセンター・りた」が指定管理者として管理を行っている。

「悠紀の里」は活動室や印刷活動室を備え、市民活動を中心にさまざまな活動に活用できる施設になっている。また活動を行っていくうえでの相談や紹介、ボランティアのマッチングなども行うことで、それらの活動をサポートできる施設を目指している。利用時間は9:00～21:00である。休館日は月曜日（祝日の場合は翌日）および12月29日～1月3日である。

「悠紀の里」は六ツ美地域の歴史や文化財などを展示紹介する六ツ美歴史民俗資料室を核としている。旧六ツ美村は1919（大正8）年10月、悠紀齋田献穀の光栄を記念するため、役場（現岡崎市役所六ツ美支所）の前に様々な農機具や記念物を陳列する「齋田記念館」を建設した。その後記念館は解体されたが、1987（昭和62）年3月31日、六ツ美支所の隣に「六ツ美民俗資料館」が新しく建てられた。現在、同資料館の資料は「地域交流センター六ツ美分館・悠紀の里」に運ばれ分かりやすく展示されている。2015（平成27）年6月7日、悠紀齋田100周年記念のお田植えまつりが敷地内の齋田広場で行われ、式典には100周年を記念して、秋篠宮文仁親王と同妃紀子様が出席された。



オープン記念式典 20150215





全景 20150731



ゲート 20150731



入口 20150731



悠紀斎田記念館 六ツ美村誌より転写



旧六ツ美民族資料館

悠紀の里には悠紀斎田に係わる記念碑が建立されている。1916（大正5）年に建立された斎田地の記念碑、2013（平成25）年に建立された御田植唄の記念碑や2015（平成27）年に建立された稲春歌の記念碑がある。



悠紀の里記念碑郡 20150731

斎田地の記念碑
1916(大正5)年
20150731



斎田地の記念碑
10周年記念
1916(大正5)年
20150731

斎田地の記念碑
大嘗祭悠紀地方
稲春歌
2015(平成27)年
20150731



斎田地の記念碑
大嘗祭悠紀斎田
御田植唄
2013(平成25)年
20150731



本項は「悠紀の里」ホームページから引用した。

